平成 29 年度 学校だより

輝け、大越っ子

《かしこく・やさしく・たくましく》

第１９号　福島県田村市立大越小学校
発　行　日　平成 30 年 1 月 10 日
発行責任者　校長　根内 喜代重

新しい年を迎えて　～望ましい学校生活は、正しい生活習慣から～

元気な子どもたちが学舎に戻ってきました。うれしい限りです。保護者や地域の皆様には、「冬休み」の間の見守りやご指導等に心から感謝申し上げます。

子どもたちにとって、楽しみにしていた時間はあっという間に過ぎてしまった感じかもしれませんが、**一日も早く生活のリズムを取り戻し、目標に向かって頑張ることができる**よう指導にあたってまいりたいと思います。

つきましては、全校集会や各学級において次のことを確認しましたので、ご家庭での励ましや生活習慣づくりへのご協力をよろしくお願いします。

◇ お互いに気持ちのよいあいさつをしましょう！
相手の、顔見て、笑顔で、元気よく
◇ 毎日の学びの構えをつくりましょう！
登校したら、　すぐに、すばやく、心も体も教室も

全校集会 1.9

さて、平成２６年度途中から始まった**校舎改築に伴う工事も今年度末まで**には一切が完了する予定です。この間、保護者や地域の皆様には、何かとご不便やご迷惑をおかけしましたが、ご理解とご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。「来年からは、校庭で毎日思いっきり遊んだり、運動会ができるぞ。」という子どもたちの声が聞こえてきます。そういった意味では、次年度からが**「新生大越小学校の本格的なスタート年」**とも言えますので、次年度の教育環境を活かした教育計画の作成に取り組んでいるところです。

また、平成３２年度から全面実施となる**新学習指導要領に基づく小学校教育が２年間の移行期**に入ります。新聞報道などでは「特別の教科　道徳」の全面実施や小学校高学年での「外国語」、中学年での「外国語活動」の導入などが話題となっていますが、**『子どもたちに身につけてほしい資質や能力』**についてもみんなで確認する必要があると思います。

それは、**「知識及び技能」**の習得、**「思考力・判断力・表現力等」**の育成、そして、**「学びに向かう力、人間性等」**の涵養という３つの柱からなっていますが、その背景には、人工知能（ＡＩ）の飛躍的な進化に代表される絶え間ない技術革新など、人間の予測を超えて進展する情報化やグローバル化といった社会的変化に**主体的に向き合って関わり合い、よりよい社会と幸福な人生の創り手**となっていけるような人間に育ってほしいという願いがあります。

なお、**１月下旬には、各学年において学力テスト**があります。これまでの学習内容をしっかりと身につける大切な機会にし、自信をもって進級・進学ができるようにしたいと思います。

◇ 入賞おめでとう！

《小学生の税に関する習字展》　【銅賞】　６年　三本木美紗　　【佳作】　５年　三本木小雪

（株）三和工業様より「除雪機」をご寄付いただきました！

１２月２１日（木）、代表取締役社長武田公志様が来校され、校長室において「除雪機の贈呈式」を行いました。取り付け道路が長くなり、玄関前なども広々としていますので、除雪作業には大変助かります。子どもたちの登下校の安全確保を図るとともに、除雪作業の軽減を教師と子どもが向き合う時間の確保につなげ、教育活動の一層の充実を図ってまいりたいと思います。

福島民報 29.12.23

大越小に除雪機
三和工業寄贈

田村市の三和工業は二十一日、市内大越町の大越小に除雪機一台を寄贈した。

武田公志社長が同校を訪れ、児童代表の熊谷楊涼君（六年）に目録を手渡した。ともに六年の藤井咲良さんと坪井太吾君が「学習や安全を優先して工事してもらい感謝している。これから寒くなるが、応援している」と話した。根内喜代重校長も謝辞を述べた。

三和工業は同校の校舎改築や校舎周辺の外構工事を進めており、来年三月までに終了する予定。本格的な降雪時期を前に記念品として贈った。

左から根内校長、坪井君、武田社長、熊谷君、藤井さん

みんなの善意をお届けしました！

ボランティア委員会のみなさんが約１週間にわたって「歳末たすけあい募金」を呼びかけてきたところ、**１６，５３３円の募金が集まり**、１２月１９日（火）に来校された田村市共同募金委員会へお渡しすることができました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

また、１２月２３日（土）には、田村市文化センターで開催された**「歳末たすけあい事業　支えあいのココロ感謝祭『たむらの町が良くなるしくみ』公開ありがトーク」**で、**本校を代表して、６年の白石真也さんと千葉紗希さんがボランティア委員会の取り組みなどを発表しました。**「どうして募金をするのだろう？」という疑問から、「募金活動の意義や目的」を確かめるとともに、ベルマークやインクカートリッジを集めることが自分たちの学校生活をよりよくするだけでなく、へき地の学校や開発途上国のお友だちが読み書きを勉強したり、絵本を買ったりすることにも役立っていることが分かり、みんなと助け合う気持ちや周りの人たちへの感謝の心をもって活動すること、そして、だれかの役に立つことに喜びを感じられるような人になることの大切さを感じたという発表がありました。

◇ 合格おめでとう！　《日本漢字能力検定合格者》

【５級】６年　会田秦之介　草野　彩花　久保田優花　藤井　咲良
【６級】６年　富塚　悠人
【７級】５年　久保田真帆　八木沼澪奈
　　４年　石井　雄基　小川　大輝　佐藤　陸人　根本　莉子　藤井　絢
　　三浦　歩人　横田　友菜

◇ お願いです！

冬の時期の登下校や放課後・休日の過ごし方について、次のような指導をしていますので、今後とも子どもたちの見守りやご指導をよろしくお願いいたします。

○ **交通事故防止**　飛び出しはしない。道路では遊ばない。積雪や凍結時は自転車に乗らない。
○ **冬場の事故防止**　川や池で氷すべりをしない。　電柱や電線の近くでたこ揚げをしない。
火遊びやたき火はしない。　屋根からの落雪にも気をつける。
○ **誘拐やわいせつ被害等の事故防止**　知らない人についていかない・車に乗らない。
危険を感じたら大声で助けを呼ぶ・近くの家や商店へ避難する。

◎　降雪（積雪）時には、子どもたちの通学路確保のため、
可能な範囲で除雪等にご協力いただきますようお願いいたします。